

# 超速硬型高流動性無収縮モルタル

## — 汎用タイプ —



AQCグラウトQは、超速硬セメントをベースに各種混和剤を プレミックスした、超速硬型無収縮グラウトです。プレミックスタイプのため、現場では水を加えるだけで安定した流動性のあるグラウト材が得られ、施工が容易です。マンホール蓋取替工法の鉄蓋受部の無収縮モルタル路盤材として最適です。

※施工条件にもよりますが、一般的に 53L (4袋) 以上の容量の場合は、AQCグラウトSPをご使用ください。

### 【 特 長 】

- 超速硬特性を有し、短時間で所定の強度が得られます。
- 流動性に優れ、充填性の高い材料です。
- プリーディングが無く、無収縮性を有します。

### 【 用 途 】

マンホール蓋受部の調整モルタル路盤材、寒冷地でのグラウト工事、機械基礎の固定工事、緊急性を伴う工事

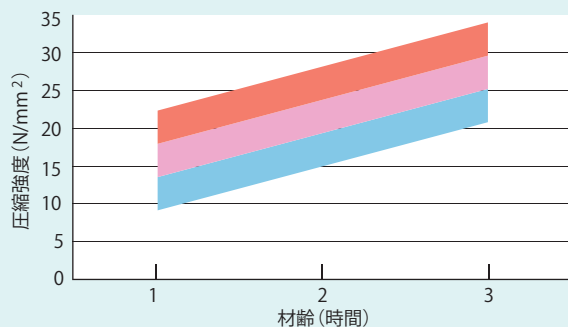
### 【 標準配合 】

荷姿	標準練り混ぜ水量	目標コンシステンシー (J14 漏斗)	単位容積重量	1袋(25kg) 当たりの練り上がり量	1m <sup>3</sup> 当たりの標準使用量	
					AQCグラウトQ	水
25kg/袋	4.5L/袋	6±2秒	2.2kg/L	13.4L	1.875kg(75袋)	338L

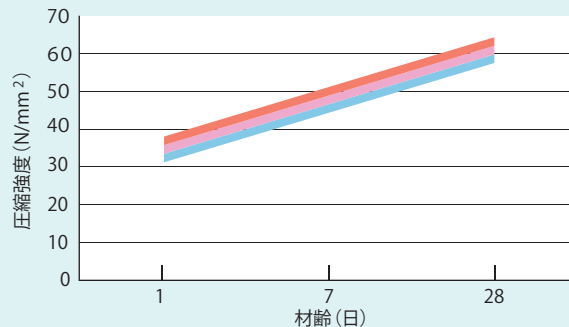
※練り混ぜ水量は、温度、練り混ぜ量、攪拌器具の種類によって異なりますので 4.3~4.7L の水量で調整してください。

【物性値】 試験方法 圧縮試験:JIS R 5201「セメントの物理試験方法」に準じる。

初期圧縮強度



長期圧縮強度



※ 物性値については当社試験結果であり、代表値です。品質保証値ではありません。

30° 20° 5°

【施工上の注意点】

- ① 超速硬性を有しているため、作業時間には十分注意してください。  
また、大容量の施工では反応熱によりクラックが発生する場合があります。
- ② 練り混ぜ水量は、材料温度、環境温度、練り混ぜ量、攪拌器具の種類によって異なりますので規程範囲内の水量で調整してください。
- ③ 施工は、練り混ぜた材料が 10~35℃となる範囲で行ってください。
- ④ 練り混ぜには高速ハンドミキサー (回転数800rpm以上) を使用し、材料が均一に練り混ぜられたこと (2分) を確認してから施工してください。また、練り混ぜは1袋ずつとしてください。また、ミキサーの羽根はスチール製とし、アルミ製は使用しないでください。
- ⑤ 施工面は予め表面の油類・ほこり・レイタンス等を除去し、十分に水湿し、または給水調整剤を塗布してから施工してください。
- ⑥ 施工は連続して行ってください。
- ⑦ 施工後はモルタル表面が直射日光や風の影響を受けないよう、布、シート等で覆い、湿潤状態で養生してください。

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。



取扱いおよび保管上の注意事項



本製品は、取り扱いが容易で安全性も高いものですが、下記の事項に注意して取り扱いください。

- ・ 取扱いは換気の良い場所で行い、目や皮膚への接触を防ぐため、保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
- ・ 作業後は手洗い、うがいをしてください。
- ・ 万一、目に入ったり、長く皮膚に付着した場合は、清水で十分に洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
- ・ 本来の用途以外に使用しないでください。
- ・ 材料は直射日光や湿気を避けて保管してください。
- ・ 子供の手の届かない所に保管してください。
- ・ 詳細な内容が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照ください。



**Aquaintec**  
アクアインテック株式会社

本社所在地

〒439-0022 静岡県菊川市東横地 3311-1  
TEL: 0537-25-7540 (代) FAX: 0537-25-7541

東京営業所

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-2-5 (御茶ノ水 NK ビル7階)  
TEL: 03-3256-8321 FAX: 03-3256-8322

大阪営業所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 4-3-12 (新大阪明幸ビル4階)  
TEL: 06-6152-6530 FAX: 06-6152-6531

静岡営業所

〒439-0022 静岡県菊川市東横地 3311-1  
TEL: 0537-25-7542 FAX: 0537-25-7549

URL <https://www.aquaintec.co.jp>